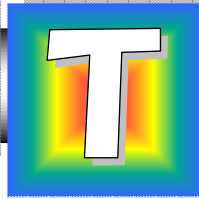


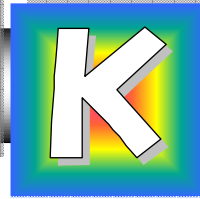
退院後も



つながります



あなたの



ところとからだ

平成22年11月15日号
地域医療連携室発行

今回は前回に引き続き患者さんが安心して療養していただけるよう、日々努力している4階病棟におじゃましてお話をお伺いしました。

4階病棟(診療体制)を紹介します

Q:お忙しいところ申し訳ございませんが、

はじめにスタッフの紹介をお願いします。

看護部スタッフの紹介をします。やさしく、時には冷静沈着に4階病棟を仕切ってくれる師長、50歳になっても少女のようなT・TAK専属女優主任、かっこいいスーパーウーマン主任、元気で明るい17名の看護師スタッフ、病棟中を走り廻っている看護助手2名の合計22名でがんばっています。

熟年スタッフが比較的多いのですが、新人看護師3名が新しく仲間に入り、そのフレッシュさで4階病棟の若返りに貢献しています。そして忘れてはならないのがナースマン2名です。ナースマンならではの気配り・心配りで病棟を盛り上げています。個性も年齢も豊かな22名が患者様の回復を願って日々頑張っています。

Q:4階病棟の特色を紹介してください。

整形外科と眼科の混合病棟です。整形外科では手足や腰の骨折、ヘルニアや脊柱管狭窄症など体の動きが不自由な患者様、また眼科では主に白内障の手術目的で視力障害のある患者様が入院されています。そのため日常生活援助中心の看護ケアを行っています。整形外科は毎日回診があり、レントゲン片手に日々の変化に対応しています。

また、リハビリ状況についても理学療法士と連絡を密に退院にむけて計画をたて実施しています。説法の話から政治、農業の話まで話題豊富な西川先生。ゆっくり、じっくり話を聞いてくださる古川先生。詳しく病状説明をしてくださる山口先生。大きな声で元気な田中先生。



眼科の太田先生は、とても優しく患者様からの信頼も絶大です。

ベッド上で過ごす時間の長い患者様が多いので少しでも安全に、安楽に入院生活が送れるよう医師、看護師で力をあわせ治療・援助にあたっています。

Q: 患者様に対して何時も心掛けていること(モットー)を

紹介していただけませんか？

患者様が退院後に安心した生活が送れるよう出来ないところは少し援助し、出来るところはじっと見守り、それぞれの患者様の目標にあわせて優しく声掛けをしています。またベッドサイドに足を運び患者様とのかかわりを大切にしています。

親切・丁寧をモットーに患者様の目線でごんばっています。

Q: 4階病棟で他の部門と比べてこれだけは！と自信を持っていることはありますか？

まず、元気です。体が丈夫でどんな患者様にも対応できる体力があります。清潔援助、日常生活援助は安心して任せてください。そしてそのための食欲です。しっかり食べて風邪なんてよせつけません。

そしてもう一つ、患者様の回復を願う気持ちです。少しでも早く退院できるようスタッフ一丸となって看護援助に取り組んでいます。



Q: 最後に病棟の目標及び抱負をお願いします。

「整形外科看護の根拠を理解し、入院時から退院にむけた看護実践ができる」

を本年度の病棟目標にしています。具体的には、以下3項目をあげ日々取り組んでいます。

- ①「看護ケアの充実」痛みや安静のため入浴できない患者様がほとんどです。そのため個々の患者様に合った清潔援助の充実を図っています。
- ②「退院調整の充実」退院後の生活に向けて患者様やご家族の方の不安に対してお聴きしています。少しでも安心して退院後の生活が送れる援助ができるよう努めています。
- ③「合併症の予防」手術や安静によるさまざまな起こりうる問題を個々の患者様に応じて予測し予防に努めることをスタッフで話し合っ取り組んでいます。

さて、次回のT・TAK新聞は・・・5階病棟を紹介します。
この様子は「播磨病院ホームページ」より公開していきます。

どしどし、アクセスしてみてくださいね。

T・TAK新聞のバックナンバーは、播磨病院ホームページ

<http://www.harima-hp.jp> からご覧いただけます。

by : D.K